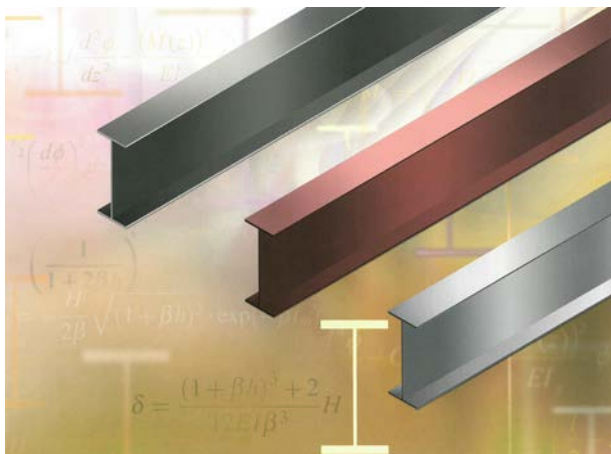
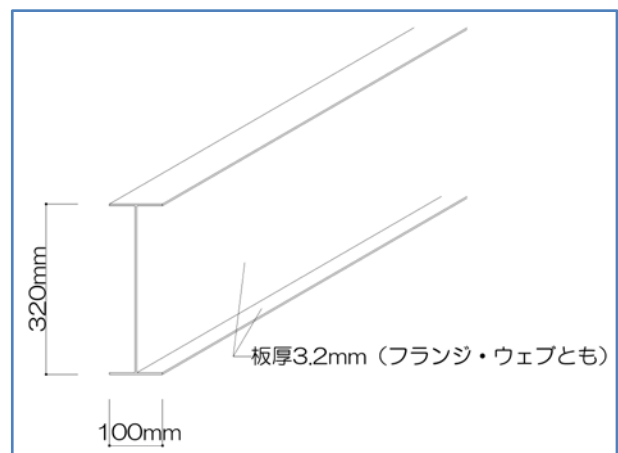


トレオ LH活用拡大

- (目的) LH(溶接軽量H形鋼/スマートビーム®)は、熱延コイルから高周波抵抗溶接によって製造されるH形鋼であり、通常のH形鋼に比べ、板厚が薄く、軽量であることが特徴である。
従来から母屋材(屋根折板受鉄骨)にはLHを使用しているが、サイズが多岐に渡り、設計及び施工面で煩雑になってきたことから、製造元(新日鐵住金株式会社)の協力を得て、当社システム建築における最適なオリジナルサイズのLHをテーラーメイド生産し、標準部材化するもの。
同時に、トレオの二次部材におけるLHの適用範囲を広げ、コストダウンを図る。
- (特徴) 従来、トレオ(弊社自由設計型システム建築)で屋根材にSDルーフ(山高約 60mm の安価なボルトレス折板)を採用する場合、母屋材には梁成 150mm のLHを使用しているが、一般地域で母屋スパンが 6m を超えるものや多雪地域のものについては、耐力不足のため母屋受用の梁が必要となったり母屋材自体が通常の圧延H形鋼になるなど、軽量たる LH の特性が生かされていない面があった。
そこで今回、母屋材としてLH-320×100×3.2×3.2のオリジナルサイズを用意することにより、一般地域で母屋スパン 8.0m 程度まで、また一部の多雪地域においても母屋受用の梁が不要となり、軽量化が可能となった。
その他、屋根がSDルーフ以外の場合の母屋材や、間柱などの二次部材についても、本サイズの使用により軽量化が可能である。
また、本サイズの調達については、製造元の協力により毎月 1 回の製造チャンスを確保するとともに、一部材料保管対応することによって、各物件の工程に合わせたスムーズな納入を可能としている。
- (効果) 屋根面鉄骨(大梁除く)において、従来のものと比較すると 15%程度のコストダウンが見込まれる。
また、屋根面が軽量化されることにより、主架構(主柱・大梁)や基礎についてもサイズダウンが期待できる。
- (採用目標) 年間使用量 1,000t を目指す。(約 50 棟での採用)



スマートビーム® (新日鐵住金㈱提供)



オリジナルサイズ LH